

税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、 憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名

(略称=大軍拡反対請願署名)

請願趣旨

2015年9月の「戦争法」強行成立、22年12月の「安保3文書」の閣議決定を経て、「戦争する国」への準備が急ピッチで進むことに「新たな戦前」を危惧し、「戦争の惨禍を繰り返すな」の市民の声が広がっています。市民は、戦争の準備ではなく、一人ひとりのいのち、くらしを大切に「人間の安全保障」、平和の準備を求めています。

ロシアのウクライナ侵略から25年2月で3年、イスラエルのガザ侵攻から2年目となっています。核兵器使用にまで言及し、市民を巻き添えにする武器の使用も躊躇しない現代の戦争を見て、戦争準備の無意味さに市民は気づき始めています。24年のノーベル平和賞が、核兵器廃絶を求める活動を粘り強く続けてきた日本被団協に贈られたのも、核兵器使用への危機感が国際的に共有され、核兵器の廃絶が求められていることの証左です。

このような時に、憲法の制約を踏み越えて他国攻撃のための武器を保有し、日米を始めとする軍事同盟に深く関与し、中国を仮想敵国として戦争準備を進めることは、危機を自ら招き入れ、日本を再び戦場にするにもなりかねません。

戦争準備のために23年度から27年度までの5年間だけで43兆円もの税金を軍事費につぎ込むことは、国際的にも貧弱な日本の社会保障費や教育費、貧困対策や最低賃金を始めとする所得保障をさらに圧迫し、予算拡充を困難にするばかりです。

以上のことから、下記事項の実現を求めます。

請願項目

- 1 平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を押しつける軍備拡大を中止してください。軍拡の財源確保のための増税はおこなわないでください。
- 2 憲法への自衛隊明記、緊急事態条項創設などの戦争準備はやめてください。憲法にもとづき平和的生存権を実現する政治をおこなってください。

氏名	住所(〇〇県△△市□□町1丁目2-3 ←番地までお書きください)
	都道 府県

*名前(姓)や住所を「〇〇」「同上」のように省略せずに記入してください。*この署名は、個人情報保護法に基づき目的以外には使用しません

呼びかけ団体

9条改憲NO! 全国市民アクション 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

【連絡先】

- 戦争をさせない1000人委員会 (☎ 03-3526-2920)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条を壊すな! 実行委員会 (☎ 03-3221-4668)
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター (☎ 03-5842-5611)
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 (☎ 03-3221-5075)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

()